

12月14日（土）

生徒の日記から

K. N

朝、ホストマザーのティナと別れた後、ロサンゼルスに向かった。UCLAでは、海洋環境学と化学をそれぞれ専攻している学生たちに案内してもらい、校舎の設備やデザインを比較してきた。この大学の建物のデザインは優美・優雅で素晴らしく、大学そのものが、1つの街のようになっていて驚いた。やはり学費は高いようで、案内してくれた学生たちも苦勞していた。海外に行って英語で何かを学ぶために交換留学をしようと思ったら、奨学金だけでなく、自分でもバイトをして稼がなくてはならない。今以上にもっと勉強を頑張りたいと思った。

A. Y

今日は、全米日系人博物館に行って、お話を聞きながら、150年間の日系アメリカ人の歴史について学んだ。裏切りによる信頼関係のくずれや、当たり前な生活を奪われ収容所に集められた反面、正しいことを行っていると信じて過ごしてきた日系人の、力強くたくましく生きる勇敢さに感動した。これからアメリカの政府が、移民に対してどのような対応をしていくのか注目していきたいと思った。

F. O

朝、いつもより目が覚めるのが早かった。なぜならホストファミリーと過ごす最後の朝だったからだ。私は、ホストマザーが、目が合うと笑ってくれたこと、毎日送り迎えをしてくれたこと、美味しい料理を作ってくれたことなど、ここで過ごした6日間を一生忘れないだろう。今日は、ホストシスターの誕生日。私は、家を出るときに、日本から持ってきたプレゼントを渡した。とても喜んだ顔でハグをしてくれた。そのあとに感謝の手紙を渡した。みんなとハグしたとき、一気に悲しくなって泣きそうになった。今回のホームステイを通して、もっと英語を勉強して、もう一度会いに行きたいと思った。

M. K

今日はホストファミリーとの別れがあった。とてもとても悲しかった。クッキーとサンドイッチと手紙をもらってとても嬉しかった。またホストファミリーに会いたいと思った。UCLAには色々な専門的な学科があった。フードコートのレストランは苦かった。日系人博物館では、授業では習えない内容のことをたくさん学べて良かった。ハリウッドでは、いろいろな人がいたけど、有名な俳優の手形とかがあってとても嬉しくてたのしかった。